SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル
プリンタードライバー編

プリンタードライバーの各種機能の説明と設定方法について
記載されています。

T-984P-6
MA1003-A　2010年3月15日　第1版発行

目次

1. Windowsプリンタードライバーについて

ここでは、Windows環境で本プリンターをご使用いただくために必要なプリンタードライバーについて説明します。

■ プリンタードライバーとは

プリンターを制御するためのソフトウェアです。プリンタードライバーは、アプリケーションからの印刷命令をプリンター固有の制御コマンドに変換してプリンターに送ります。
Windows環境での印刷には、プリンタードライバーが必要です。

■ プリンターに添付されている専用プリンタードライバーを使用するメリット

- プリンターに最適な制御コマンドを高速に生成して印刷します。
- プリンターの能力を最大限に発揮する多彩な機能を使うことができます。

■ プリンタードライバーを使用する際の注意事項

- プリンタードライバーには多種多様の設定があり、設定の違いにより印刷速度や印刷結果が異なる場合があります。
- アプリケーションや印刷内容により最適な設定は異なりますので、各設定の特徴をご理解の上、最適な設定でご使用ください。

■ 対応OS

対応するWindowsは下表の通りです。Windowsプリンタードライバーは、各Windows専用のものをご利用ください。
使用するOS環境により、プリンタードライバーの利用できる機能が異なる場合があります。

<table>
<tr><th>対応OS（Windows operating system）</th><th>略称</th><th>対応プリンタードライバー</th></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 2000 operating system</td><td>Windows 2000</td><td rowspan="6">Windows 2000/XP/Server 200x/
Vista/7対応プリンタードライバー</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® XP operating system</td><td>Windows XP</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2003 operating system</td><td>Windows Server 2003</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Server® 2008 operating system</td><td>Windows Server 2008</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows Vista® operating system</td><td>Windows Vista</td></tr>
<tr><td>Microsoft® Windows® 7 operating system</td><td>Windows 7</td></tr>
</table>

※ 本書では、OSの表記について上記略称のように省略して記載する場合があります。
また、併記する場合は「Windows XP/Server 200x/Vista」のように「Windows」を省略したり「Windows Server 2003」と「Windows Server 2008」を合わせて「Server 200x」と表記する場合があります。
※ USBを使用できる環境は、対応OSがプレインストールされたコンピューターまたはクリーンインストールされたコンピューターに限ります。アップグレードしたOS環境では正しく動作しない場合があります。（サポート対象外です。）
※ 標準でインストールされるプリンタードライバーは、日本語環境専用です。その他の言語のWindowsには対応しておりません。
※ 英語環境対応のプリンタードライバーについての情報はホームページ http://casio.jp/ppr/ をご覧ください。
※ ホームページ http://casio.jp/ppr/ にて随時、最新版の提供を行っています。

注意

- 本マニュアルに記載されていない最新の情報が、プリンタードライバーのヘルプ、もしくはテキストファイルに記載されていることがあります。また、Windows 特有の制限・注意事項などに関するドキュメントファイルが Windows にも添付されています。本マニュアルと併せて必ずご一読ください。
- Windowsに関する操作や概要については、Windowsに付属のマニュアルなどをご覧ください。
- 印刷方法については、印刷を行う各アプリケーションのマニュアルなどを確認してください。
- 本マニュアルに記載されているプリンタードライバーの機能、操作方法、画面デザインは、機能拡張や改良のため、予告なく改変されることがあります。
- 本書に掲載のWindows画面表示は、特に指定がない限りWindows XP環境の画面を例に説明しています。
- ご使用環境によって、実際の画面表示と本文中の画面の図とで差異が見られる場合があります。あらかじめご了承ください。
- SPEEDIAはカシオ計算機株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows ServerおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載された会社名および製品名などは、該当する各社の登録商標または商標です。
  ※ 本書中またはソフトウェア上の記載には、必ずしも商標表示（®、™マーク）を付記していません。

2. プリンタードライバーのセットアップ

本プリンターをWindows環境でご使用いただくには、プリンタードライバーのセットアップが必要です。☞ **ユーザーズマニュアル セットアップ編**を参照し、CD-ROMからセットアップウィザードを使用してセットアップを行ってください。

※ プリンタードライバーのインストールおよび設定を行うためそれぞれのアクセス権が必要です。アクセス権については、コンピューターの管理者に確認してください。
※ Windows標準の「プリンターの追加」でCD-ROMからプリンタードライバーをインストールする方法については、☞ **付録 「プリンターの追加」によるインストール（35 ページ）**をご覧ください。
※ Windows標準の「プリンターの追加」では、プリンタードライバー以外のユーティリティがインストールされません。
プリンタードライバー以外のユーティリティをインストールしないと、プリンタードライバーの一部の機能が制限されるなどプリンターの機能を最大限に活用できなくなりますので、セットアップウィザードを使用してインストールすることをお勧めします。

3. プリンタードライバーの環境設定

プリンタードライバーのセットアップが完了したら、プリンタードライバーの環境設定を行います。

3.1 環境設定

環境設定は、「プリンタ」フォルダーで設定するプリンターを選択し、「ファイル」メニューから「プロパティ」（Windows 7は「プリンターのプロパティ」）を開き、「環境設定」タブで行います。
各Windowsでの「プリンタ」フォルダーの開き方は次の通りです。

Windows XP/Server 2003
「スタート」メニューの「プリンタとFAX」をクリック。

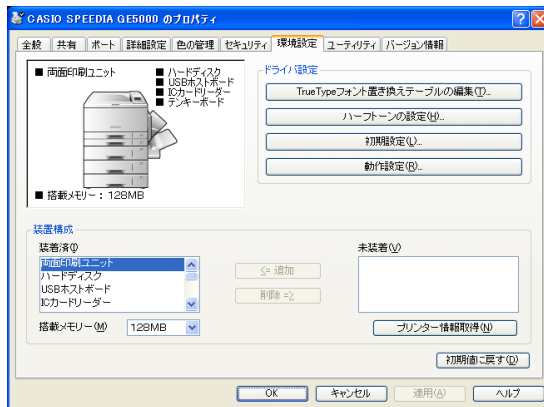
Windows Vista/Server 2008
「スタート」メニューから「コントロールパネル」を開き「プリンタ」をダブルクリック。

Windows 7
「スタート」メニューの「デバイスとプリンター」をクリック。

Windows 2000
「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」をクリック。

※「環境設定」は、アプリケーションから開くプリンター設定（プロパティ）からは設定できません。
また「プリンタ」フォルダーの「ファイル」メニュー「印刷設定」からも設定できません。

1. ドライバ設定

通常は設定を変更する必要はありません。

2. 装置構成 ー 搭載メモリー

プリンターに装着しているメモリー容量を設定します。

3. 装置構成 ー プリンター情報取得

プリンター装置構成の設定が自動で適切な内容に設定されます。使用できない場合はボタンがグレー表示になります。この場合は、接続されているプリンターの構成に合わせて、手動（「追加」／「削除」ボタンをクリック）して装置構成を設定します。

※ LAN接続の場合、TCP/IPプロトコルにて検出可能になります。（「LPQ経由の情報取得」が「しない」の場合は、SPEEDIAマネージャーをインストールすると検出可能になります。）
※ 接続環境（USBハブとの相性、ケーブルが長すぎる、Windows側の状態など様々な要因があります。）により自動検出できない場合があります。この場合ボタンはグレー表示になります。

注意 ● **「プリンター情報取得」を使うには、「プリンタ」フォルダーのメニューから「プロパティ」（Windows 7は「プリンターのプロパティ」）をクリックして「ポート」タブを開き、「双方向サポートを有効にする」をチェックしてください。**

4. 装置構成 ー 追加／削除

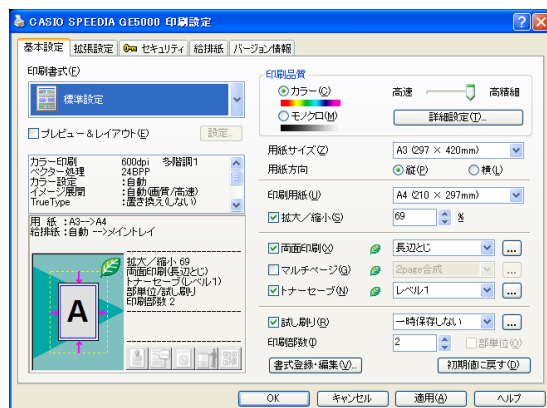
装置構成を手動で設定します。追加／削除する装置を選んでボタンをクリックします。選択した装置がリストを移動します。（プリンター構成の図も変更されます。）

※ 装置構成を正しく設定しないとプリンタードライバーの機能が制限されたり、正しい印刷結果が得られなくなる場合があります。
※ プリンター機種により装着できるオプション装置が異なります。
※ 装置構成はプリンタードライバーのインストール時に自動で設定されますが、プリンターの電源スイッチが ON になっていない場合や接続状況によっては自動で設定されない場合があります。プリンター使用前に必ず確認してください。

4. プリンタードライバーの設定

設定項目について説明します。詳細はプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

※「ヘルプ」………………… プリンタードライバーの印刷設定画面の右下の「ヘルプ」ボタンをクリックすると表示します。
また、知りたい設定項目にマウスカーソルを合わせて右クリックすると、その設定に関する説明を表示します。

4.1 基本設定

1. 印刷書式

一般によく使われる印刷目的や内容に合わせて設定をあらかじめ登録してあります。目的に合わせて選択してください。

※書式を選択すると、背景がカラーで塗りつぶされた通常の選択状態となりますが、書式に含まれる設定を変更すると選択状態がモノクロ塗りつぶしや枠線のみの表示に変わり、設定の変更がわかるようになっています。

※「書式登録・編集」ボタンで、任意の設定をユーザー書式として登録することもできます。

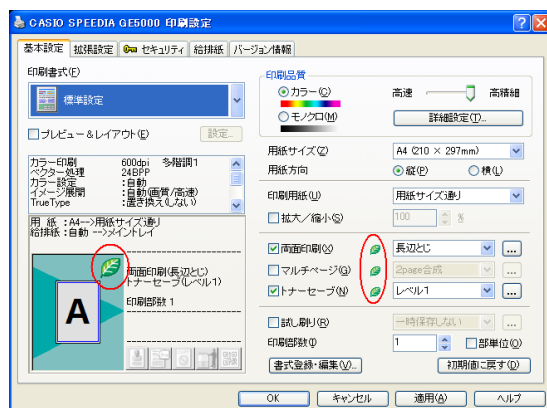
2. 印刷品質 ー カラー／モノクロ

通常は「カラー」が設定されています。カラー原稿をモノクロで印刷する場合は「モノクロ」を選択します。

3. 印刷品質 ー スライドバー（高速／高精細）

標準書式にはそれぞれ「高速」と「高精細」の２つの設定があります。用途に応じてスライドバーの設定を変更します。

4. 印刷品質 ー 詳細設定

印刷品質の詳細を任意に設定することができます。詳細は ☞ **4.5 基本設定ー詳細設定ー印刷モード（17 ページ）**をご覧ください。

5. プレビュー＆レイアウト

印刷前に、結果を確認する場合に設定します。

※ プレビュー画面から「編集」機能を使用して、印刷データを再構成（ページの入れ替え、追加など）して印刷することができます。詳細は ☞ **5.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト：REPORT HOLDER印刷）（31 ページ）**をご覧ください。

※ この機能を使うには「REPORT HOLDER for SPEEDIA」が必要です。プリンタードライバーを単独でインストールした場合は「REPORT HOLDER for SPEEDIA」をインストールしてください。CD-ROMから「標準」セットアップした場合はインストール済みです。

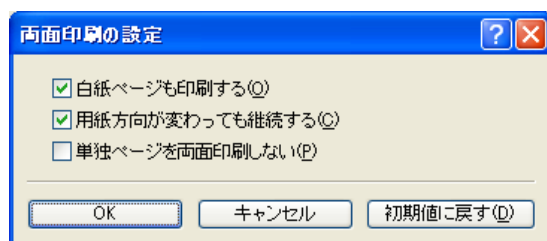
6. 用紙サイズ／用紙方向／印刷用紙

用紙サイズと用紙方向は、アプリケーション側で指定した用紙サイズと方向で自動的に設定されますので設定の必要はありません。ただし、設定した印刷用紙に合わせて拡大／縮小印刷する場合は、用紙サイズ、用紙方向を合わせて設定する必要があります。

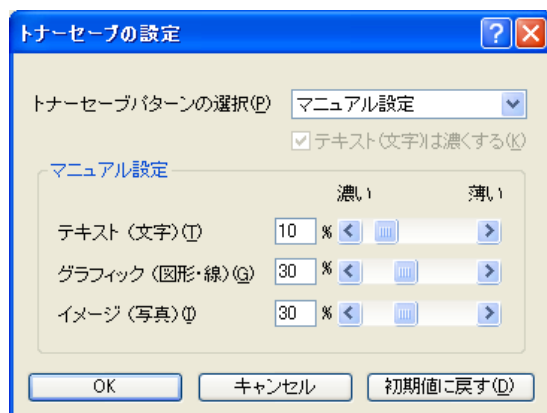
7. 拡大／縮小

任意の大きさに拡大／縮小して印刷します。印刷用紙を変更すると用紙サイズに対する拡大／縮小率が計算されてここにセットされます。

8. 両面印刷

両面印刷を行う場合に設定します。とじる位置をリストから選択します。
リストの右側のボタンをクリックすると両面印刷の設定ダイアログボックスが表示されます。

…… エコロジー関連機能（エコ設定）に付くマークです。

…… エコ設定が一つでも有効になると、用紙イメージ右上に表示されます。

※ エコ設定を有効に利用して環境に配慮した印刷を行いましょう。
エコ設定をプリンター側の操作で一斉に行うことができる『一発エコモード』については、☞ **5.9 一発エコモードについて（33 ページ）**をご覧ください。

9. マルチページ

数ページ分を 1 枚の用紙に印刷（合成印刷）したり、 1 ページを大きく拡大して数枚の用紙に分けて印刷（分割印刷）する機能などを設定します。
詳細は **5.4 複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷する（マルチページ「合成」印刷）（28 ページ）**、 **5.5 模造紙大まで拡大して印刷する（マルチページ「分割」印刷）（29 ページ）** をご覧ください。

10. トナーセーブ

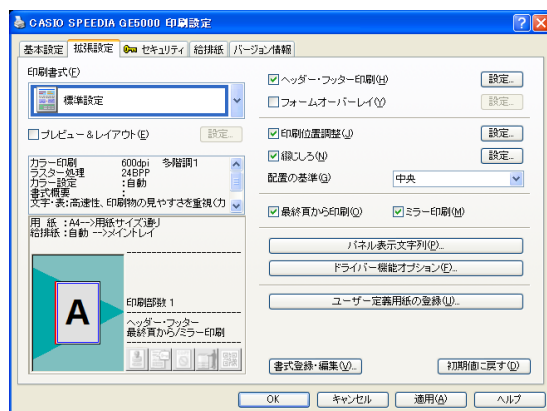
印刷濃度を全体に下げ、トナーの消費を抑えて印刷します。トナーセーブパターンをリストから選択します。
リストの右側のボタンをクリックするとトナーセーブの設定ダイアログボックスが表示されます。ここでは、テキスト（文字）だけを濃くする設定の有無やオブジェクトごとのトナー節約量の設定ができます。
※トナー節約量（%）は、ソフトウェア処理上の目安です。実際の節約量は様々な条件によって異なります。
※グラフィック（図形・線）とイメージ（写真）を異なるトナー節約量に設定すると、図形の一部が黒くなるなど期待した結果が得られないことあります。その場合は節約量を同一に設定してください。
※アプリケーションによっては、文字をグラフィックで描画したり図形をイメージで描画することがあり、設定通りのトナーセーブ結果が得られないことがあります。

11. 試し刷り

試し刷り印刷を行う場合に設定します。詳細は **5.2 複数部数の印刷時、まず 1 部印刷してから残りを印刷する（試し刷り印刷）（24 ページ）** をご覧ください。

12. 印刷部数／部単位

印刷する部数を設定します。部単位でソートして印刷する場合は「部単位」を選択します。
※プリンターにハードディスクを装着すると高速な部単位印刷が可能です。詳細は **5.1　複数部数の印刷を部単位ごとにソートして印刷する（部単位印刷）（23 ページ）** をご覧ください。

4.2 拡張設定

1. ヘッダー・フッター印刷

ヘッダー・フッター印刷を設定します。ユーザー名やドキュメント名、日付と時刻、任意の文字列をヘッダー・フッターとして印刷することができます。

2. フォームオーバーレイ

フォームオーバーレイ印刷を行う場合に設定します。印刷データをフォームファイルとして保存することもできます。

3. 印刷位置調整

印刷位置の微調整が0.1mm単位で設定できます。

4. 綴じしろ

綴じしろとして用紙の片側に余白を取って印刷する場合に設定します。「綴じしろの設定」ダイアログボックスで、綴じしろの位置や量を設定できます。また、綴じしろの分だけ自動的に縮小する機能も選択できます。

5. 配置の基準

拡大／縮小や、マルチページ「合成」の印刷で、印刷する用紙の大きさと印刷データの大きさが異なる場合に基準となる位置を設定します。

6. 最終頁から印刷

通常とは逆の最終ページから印刷します。

7. ミラー印刷

全体を用紙の裏から見たように反転して印刷します。

8. パネル表示文字列

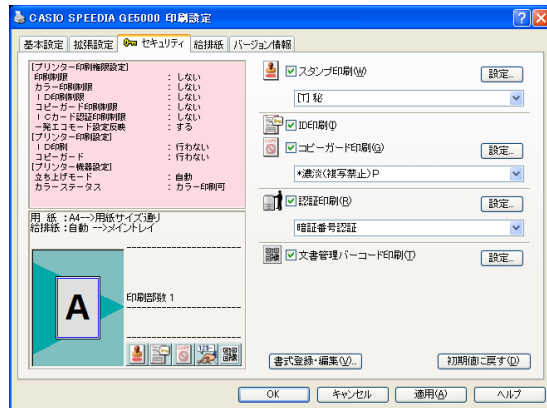
ジョブ表示／選択する際のユーザー名や、印刷中／ジョブ登録中に表示する情報を設定します。

9. ドライバー機能オプション

スプールファイル生成時のドライバー機能に関するオプションを設定します。

10. ユーザー定義用紙の登録

任意の大きさの用紙サイズを登録します。

4.3 セキュリティ

1. スタンプ印刷

スタンプ印刷を行う場合に設定します。任意の文字列やビットマップを、スタンプのように印刷データに重ねて印刷することができます。

2. ID印刷

ID 印刷を行う場合に設定します。各ページ上下左右の余白部分に ID（ログオンユーザー名、コンピューター名、印刷時刻、プリンターシリアル No.）を印字することができます。
※ 余白部分（印字領域外）に印字しますので、印字データと干渉することはありません。

3. コピーガード印刷

コピーガード印刷時に設定します。コピーガード印刷を選択して印刷すると、印刷物をコピーしたときに文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷されます。特殊な用紙を用意することなく、原紙に複写牽制措置を付加することができます。
別売の COPY GUARD TOOL（Ver.2 以降）を導入すると、牽制文字やパターンの編集、印刷条件の指定などの機能が追加され、さらに多彩な複写牽制措置が可能になります。

4. 認証印刷

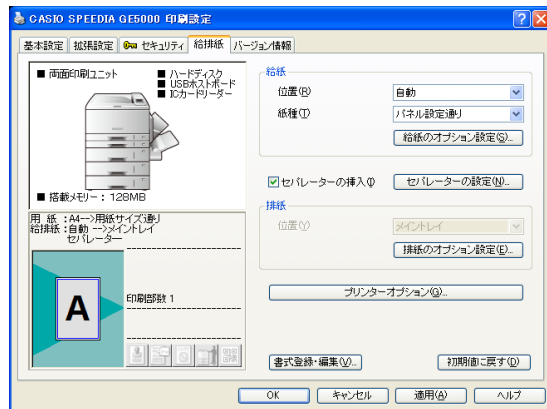
認証印刷を行う場合に設定します。詳細は ☞ **5.3 他の人に見られないように印刷する（認証印刷）（25 ページ）** をご覧ください。

5. 文書管理バーコード印刷

文書管理バーコード印刷を行う場合に設定します。設定した保管／廃棄期限情報と文書 ID をバーコード（QRコード）に変換し、文書管理情報として印刷することができます。

● セキュリティ情報ガイダンス

プリンター側で設定された各種の印刷権限や、プリンタードライバーの初期値設定に影響するプリンター操作パネルの設定情報を表示します。

4.4 給排紙

●プリンター装置構成

このタブでは、プリンターの装置構成が確認できます。装置構成の変更について詳細は ☞ **3.1 環境設定（7 ページ）** をご覧ください。

1. 給紙 － 位置

給紙する位置を設定します。通常は「自動」のままで使用します。

2. 給紙 － 紙種

印刷する紙の種類を設定します。OHPシートや封筒、はがきおよび厚紙など、普通紙以外の用紙に印刷する場合は必ず設定が必要です。
また、厚めの普通紙（71g/m^{2}以上）を使用する場合は、用紙の厚さに合わせて「カラー上質紙（71～82g/m^2)」または「両面用上質紙（83～100g/m^2)」を設定してください。

※ 給紙装置ごとに使用する紙種が決まっている場合、プリンターの操作パネルで紙種を設定しておけば、プリンタードライバーの設定は「パネル設定通り」のまま変更する必要はありません。

※ 印刷画像を指でこすると剥がれるときは、紙種の設定を一段階厚い設定にすると改善される場合があります。

3. 給紙のオプション設定

通常は設定する必要はありません。ページごとに給紙位置を変更する設定のほか、給紙関連のオプション設定があります。

4. セパレーターの挿入

印刷の切れ目などの目印にセパレーターを挿入することができます。特定の給紙装置に色紙を用意して、印刷の切れ目にセパレーター用紙を挿入すれば仕分けが容易になります。また、OHPシートの貼り付き防止に、シートの間に普通紙をはさみ込むことができます。

5. 排紙 － 位置

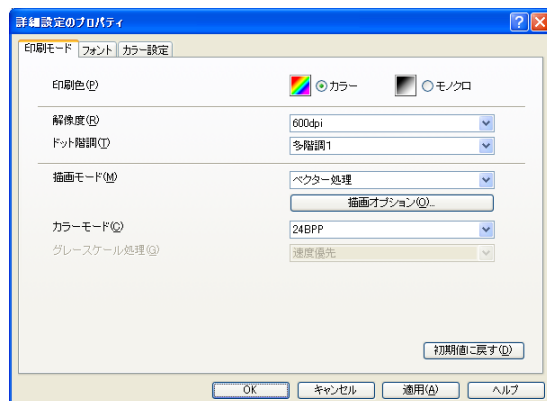
印刷した用紙を排出する位置を設定します。（本プリンターはプリンターの排紙はメイントレイのみです。設定変更はできません。）

6. 排紙のオプション設定

通常は設定する必要はありません。排紙関連のオプション設定があります。
用紙に対して印刷画像を180°回転して印刷する「リバース印字」の設定ができます。

7. プリンターオプション

プリンター本体で処理される印刷オプションを設定します。

4.5 基本設定－詳細設定－印刷モード

1. 印刷色

カラー原稿をモノクロで印刷する場合は「モノクロ」を選択します。

2. 解像度

プリンター解像度を設定します。通常600dpiから変更する必要はありません。グラデーションを多用するなど高精細なグラフィックを含むデータの場合、印刷に時間がかかることがありますので、解像度より印刷速度を重視する場合は300dpiに設定して印刷します。
※ プリンター解像度は600dpi固定です。この設定により変更されるのはデータ側の解像度のみです。

3. ドット階調

ドット階調を設定します。「標準」よりも「多階調1」の方がよりきれいに印刷できます。
※ 300dpi時は設定できません。

4. 描画モード

ドライバーの描画方法を設定します。一般にラスター処理よりベクター処理の方が印刷速度は速くなります。ラスター処理では、印刷データをコンピューター側でイメージに展開してプリンターに送るため、スプールデータサイズは大きくなりますが画面に忠実な印刷ができます。

5. 描画オプション

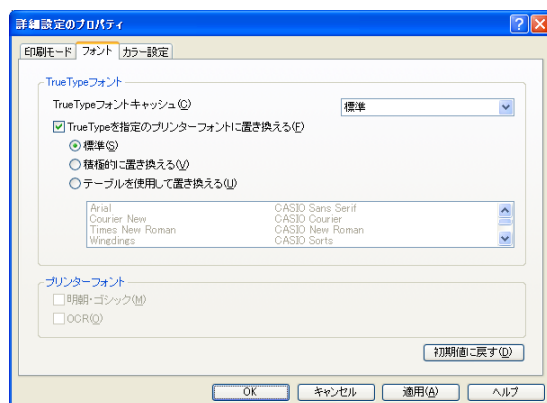
スプールファイル生成時のベクター処理に関するオプションを設定します。
※ ラスター処理時は設定できません。

6. カラーモード

通常のカラー印刷時は、「24BPP（Bit/Pixel）」のまま変更する必要はありません。特定のアプリケーションで色が正しく印刷されないときに、この設定を変更すると正しい色で印刷できる場合があります。

7. グレースケール処理

モノクロ印刷時のグレースケール処理方法を設定します。「速度優先」に設定すると正しい階調のグラデーションが得られない場合がありますが、印刷速度は速くなります。

4.6 基本設定ー詳細設定ーフォント

1. TrueTypeフォント ー TrueTypeフォントキャッシュ

一度使用したTrueTypeフォントを、プリンター内のメモリーに登録して再利用することで、同じフォントを複数回使用する際の印刷速度を向上させ、スプールデータサイズを削減させます。
通常は「標準」のまま変更する必要はありません。

2. TrueTypeフォント ー TrueTypeを指定のプリンターフォントに置き換える

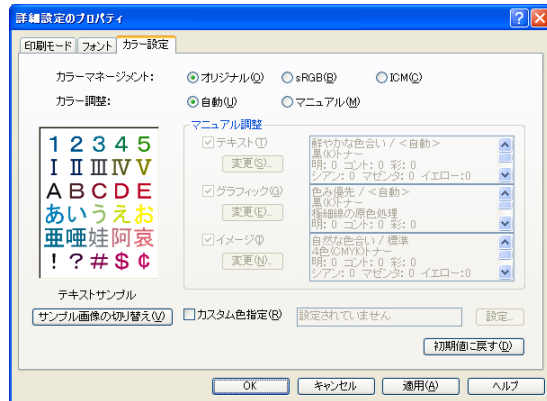
TrueType フォントをプリンターフォントに置き換えて印刷することで、スプールデータサイズの削減を実現します。
「標準」では、「MS明朝・ゴシック」「MSP明朝・ゴシック」(JIS2004対応フォントの場合を除く)および5種類の欧文フォントをプリンターフォントに置き換えます。

3. プリンターフォント ー 明朝・ゴシック

ラスター処理時、プリンターフォントを使用する場合にチェックします。通常は、使用しない方が品質的にも速度的にも良い結果が得られます。

4. プリンターフォント ー OCR

プリンターに内蔵しているOCRフォントを使用する場合にチェックします。

4.7 基本設定ー詳細設定ーカラー設定

1. カラーマネージメント

カラーマッチングを設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

※ICM（Image Color Matching）によるカラーマネージメントの設定には、別途ICCプロファイルのインストールが必要です。インストール方法など、詳細は CD-ROM の￥drivers￥icm¥readme.txtをご覧ください。

2. カラー調整

「自動」に設定すると、オブジェクトごとに最適なカラー調整で印刷します。「マニュアル」に設定すると、以下「3. マニュアル調整」が有効となり任意のカラー調整が可能になります。

3. マニュアル調整

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとに、マニュアル調整することができます。チェックボックスにチェックがないオブジェクトは「自動」と同じカラー調整となります。

4. マニュアル調整 ー 変更

「変更」ボタンをクリックすると、カラーマニュアル調整のダイアログボックスが表示されます。「変更」ボタンをクリックしたオブジェクトのタブが前面に表示されますので、任意のカラー調整を行ってください。その他のオブジェクトもタブを切り替えてカラー調整します。

5. サンプル画像の切り替え

テキスト／グラフィック／イメージの各オブジェクトごとの、カラー調整状態を確認するサンプル画像を切り替えて表示します。

6. カスタム色指定

アプリケーションで設定された特定の色を、指定した別の色に置き換えることができます。

4.8　基本設定ー詳細設定ーカラー設定ーカラーマニュアル調整

*1.*カラーマッチング
色の釣り合い（色合い）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

*2.*ディザリング
ディザリング（階調の表現方法）を設定します。印刷の目的や内容に応じて選択します。

*3.*ブラック/グレーの表現方法
ブラック（R=G=B=0）とグレー（R=G=B=＊）の表現方法を設定します。
ブラックやグレーを黒（K）トナーのみで表現するか、4色（CMYK）トナーで表現するか、印刷の目的（画像）に応じて選択します。

*4.*小文字の原色処理（テキストのみ）
12ポイント以下の文字を、赤、緑、青、黒、シアン、マゼンタ、黄、白の8色のいずれかの色で印刷します。

*5.*極細線の原色処理（グラフィックのみ）
600dpiの 1 dotの線を、赤、緑、青、黒、シアン、マゼンタ、黄、白の8色のいずれかの色で印刷します。

*6.*明度／コントラスト／彩度
明るさ／コントラスト／彩やかさを設定します。

*7.*濃度　シアン／マゼンタ／イエロー
トナーの濃度を設定します。各色ごとに独立して設定することができます。モノクロ印刷時は、 1 色のみの設定になります。

*8.*ガンマ補正
R（赤）G（緑）B（青）の発色の強さ（明るさ）を設定します。
※モノクロ時は、赤、緑、青が、同じ値になります。

9. カラーチャート印刷

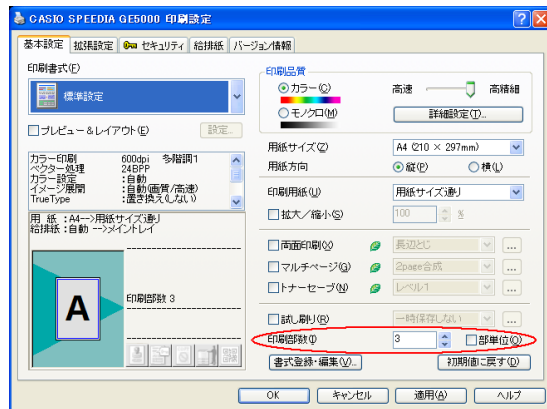
カラー調整の内容を確認するためのカラーチャートを印刷します。

10. 画質補正処理（イメージのみ）

画質補正処理を行います。
シャープネスと画像拡大時のエッジをスムーズにする解像度補正処理の設定ができます。

5. こんなことができます <印刷目的別ドライバー設定方法>

プリンタードライバーが持つ各機能の利用方法の一部をご案内します。プリンター活用ガイドにもプリンターの様々な機能を活用いただくための手順が記載されていますので併せてご覧ください。

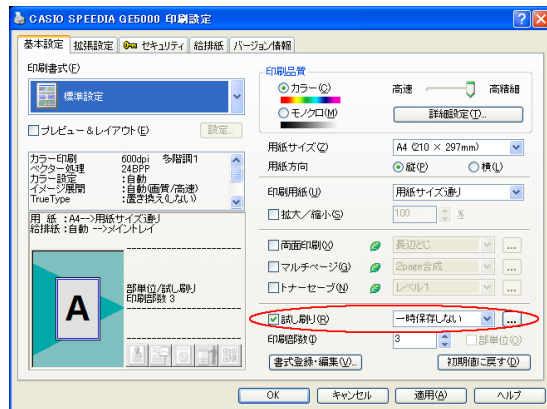
5.1 複数部数の印刷を部単位ごとにソートして印刷する（部単位印刷）

注意 ● **印刷部数はアプリケーション側で設定してください。**
ただし、アプリケーション側に設定がない場合はプリンタードライバー側で設定します。

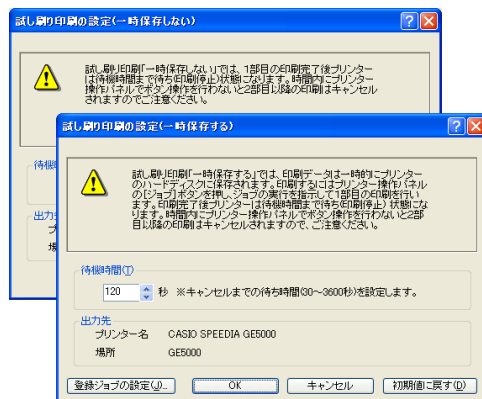
● **部単位ごとにソートして複数部数の印刷をする場合は、「基本設定」タブの「部単位」をチェックして印刷します。**

● **プリンターにハードディスクを装着すると、コンピューターからのデータ出力時間が短縮されると共により高速な印刷ができます。（モノクロ設定時は搭載メモリーを使用して同様の処理を行います。）**

※ 部単位印刷は、プリンターフォルダーから開く「環境設定」－「動作設定」の設定内容で動作が異なりますので必要に応じて設定します。設定を変更すると、アプリケーション側の設定方法も変わりますので注意が必要です。
（詳細はプリンタードライバーのヘルプをご覧ください。）

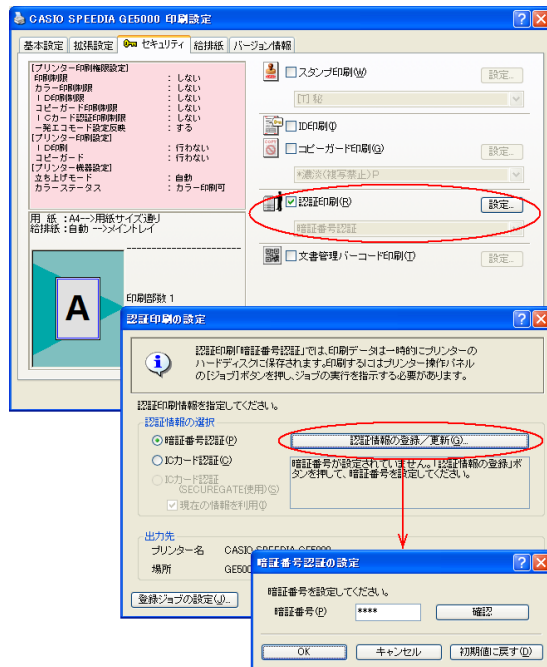
5.2 複数部数の印刷時、まず１部印刷してから残りを印刷する（試し刷り印刷）

注意

- **試し刷り印刷には、オプションのハードディスクが必要です。**
  ※ モノクロ設定時の「一時保存しない」は除きます。
- **印刷部数はアプリケーション側で設定してください。**
- **プリンターが指示待ち（印刷停止）状態のままだと、他の印刷はできません。**
  １部目の印刷後、必ずプリンター操作パネルのボタンで残りの印刷処理を選択してください。

● **試し刷り印刷をする場合は、「基本設定」タブの「試し刷り」を設定して印刷します。**

● **試し刷りでは、印刷データを「一時保存する」「一時保存しない」を選択できます。**
「一時保存する」場合、データは一時的にプリンターのハードディスクに保存されます。
「一時保存しない」場合、データは１部目の印刷完了後の「待機時間」内にプリンター操作パネルのボタンを操作しないと２部目以降はキャンセルされます。
◎ボタン：２部目以降を印刷します。
☒ボタン：２部目以降をキャンセルします。

試し刷り印刷中は、表示パネルに下記メッセージが表示されます。

パネル表示	内容・操作方法など
試し刷り　残り部数　　１部 ✕：印刷キャンセル ◎：印刷継続	残りの部数を印刷するかの確認メッセージです。 ※ プリンターは指示待ち（印刷停止）状態です。他の印刷はできません。 １部目の内容を確認して残りの部数を印刷する場合：プリンター操作パネルの◎ボタンを押します。 残りの部数を印刷しない場合：プリンター操作パネルの☒ボタンを押すか、プリンタードライバーで設定した「待機時間」まで◎ボタンを押さないままにすると、「待機時間」経過後にデータを削除します。

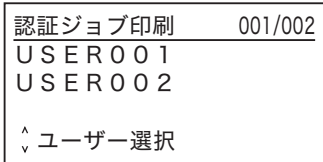
5.3 他の人に見られないように印刷する（認証印刷）

注意
- **認証印刷では、印刷データを一時的にプリンターのハードディスクに保存します。**
- **認証印刷には、オプションのハードディスクが必要です。認証用のオプション機器を装着すると、ICカードなどの暗証番号以外の認証方法を使用できます。**
- **ハードディスクに保存されたデータを印刷するには、プリンターでの認証作業（暗証番号認証ではプリンター操作パネルの暗証番号入力）が必要です。**

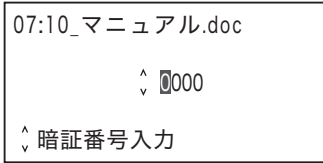
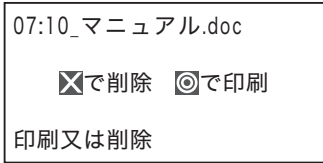
● **認証印刷をする場合は、「セキュリティ」タブの「認証印刷」を設定して印刷します。**

「認証印刷」をチェックして、「暗証番号認証」を選択します。

● **認証印刷をする前に、あらかじめ認証印刷情報の設定が必要です。「設定」ボタンをクリックして「認証印刷の設定」ダイアログボックスを表示します。**

※「設定」ボタンをクリックするときに設定されていた認証方法が選択されていますが、必要に応じて変更可能です。

● **「認証情報の登録／更新」ボタンをクリックしてダイアログボックスを表示し、選択した認証方法の設定をします。**

その他の認証印刷情報を設定、確認して「認証印刷の設定」ダイアログボックスを閉じます。以上で認証印刷の準備完了です。

※ 認証情報の選択（認証情報の登録を含む）以外の設定は、印刷実行時にダイアログボックスを表示して設定することもできますが、OS 環境やアプリケーション環境によっては、正しく表示できないことがありますので、通常は印刷開始前に設定してください。

ハードディスクに保存されている認証印刷のデータを印刷（または削除）するには、プリンターの操作パネルで印刷ジョブを選択し、暗証番号を入力します。

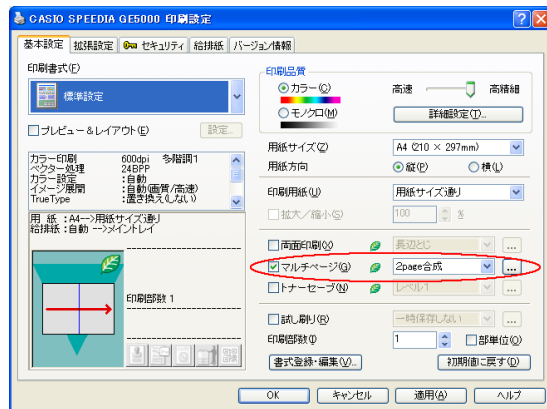
※ 以下の手順は「暗証番号認証」の場合です。オプションを使用したICカード認証印刷機能では、プリンターに接続したICカードリーダーにICカードをかざすだけで認証印刷データを印刷することができます。

手順	パネル表示	内容・操作方法など
1	印刷できます K C M Y	オンライン中（データ受信や印刷をしていないとき）に [>] ボタンを押して印刷ジョブ選択モードにします。
2	認証ジョブ印刷 001/002 USER001 USER002 ユーザー選択	印刷ジョブ選択モードでは、まずユーザー名を選択します。（ユーザー名が１つしかない場合は、この手順は省略され手順３の表示に進みます。） ◎ボタン・・・・・・ 表示されているユーザーを選択し、手順３（印刷ジョブ選択）に進みます。 [V] ボタン・・・・・ 次の候補を表示します。 [Λ] ボタン・・・・・ 前の候補を表示します。 [<] ボタン・・・・・ 手順１（オンライン表示）に戻ります。
3	USER001 001/002 すべて 07:10_マニュアル.doc ファイル選択	次に印刷（または削除）する印刷ジョブを選択します。 ◎ボタン・・・・・・ 表示されている印刷ジョブを選択し、手順４（暗証番号の入力）に進みます。 [V] ボタン・・・・・ 次の候補を表示します。 [Λ] ボタン・・・・・ 前の候補を表示します。 [<] ボタン・・・・・ 手順２（ユーザー選択）に戻ります。ただし手順２が省略された場合は、オンライン表示に戻ります。 ※［すべて］はすべての印刷ジョブが選択されます。以降の手順を印刷ジョブごとに繰り返します。

手順	パネル表示	内容・操作方法など
4	07:10_マニュアル.doc ˄˅ 0000 ˄˅ 暗証番号入力	次に暗証番号を入力します。 １行目には選択した印刷ジョブ名が表示されています。 パネル中央に表示される暗証番号を、最上位桁から１桁ずつ４桁入力します。 ※ 反転しているフィールドに数値を入力することができます。 [∧] ボタン ･････ 番号を１ずつカウントアップします。 [∨] ボタン ･････ 番号を１ずつカウントダウンします。 [>] ボタン ･････ 入力するフィールドを右に１桁移動します。 [>] ボタンを押すと、１桁移動し反転表示となります。最下位桁の入力中に [>] ボタンを押すと、最上位桁の入力に戻ります。 [◎]ボタン･･････ ４桁の暗証番号の入力後、[◎]ボタンを押します。入力された暗証番号と、あらかじめ認証印刷ジョブに設定されている暗証番号が一致しているかチェックを行います。 不一致の場合は、再度暗証番号の入力表示となります。正しい暗証番号を入力してから[◎]ボタンを押してください。
5	07:10_マニュアル.doc [X]で削除 [◎]で印刷 印刷又は削除	選択した印刷ジョブを印刷、または削除するかを選択します。 [◎]ボタン･･････････ 表示されている印刷ジョブを印刷します。 [X]ボタン･･････････ 表示されている印刷ジョブを削除します。 [<] ボタン ･････････ 手順３（印刷ジョブ選択）に戻ります。

認証印刷のジョブ選択モード移行時（[>] ボタンを押したとき)、表示パネルに下記メッセージが表示される場合があります。

パネル表示	内容
印刷できます 登録がありません K C M Y	ハードディスクに認証印刷ジョブがないと、左記を約１秒間表示し、その後オンライン表示に戻ります。

5.4 複数のページを 1 枚の用紙にまとめて印刷する（マルチページ「合成」印刷）

マルチページ「合成」の機能を使って、複数ページのデータを 1 枚の用紙に印刷することができます。

● **マルチページ「合成」印刷をする場合は、「基本設定」タブの「マルチページ」をチェックして、マルチページの種類をリストから選択します。「自由合成」などの詳細は「...」ボタンをクリックして表示される「マルチページの設定」ダイアログボックスで設定します。**

※「マルチページの設定」ダイアログボックスは、リストで選択した種類の設定状態で表示されます。

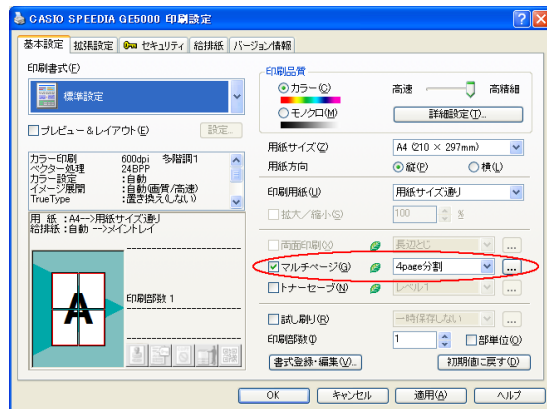
複数ページを 1 枚の用紙にまとめるには「合成」タブを選びます。

用紙イメージを確認しながら設定を変更できます。

一般によく使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選んで設定できます。

「自由指定」ボタンをクリックして、任意の設定で「合成」することもできます。

９ページを縮小して 1 枚の用紙に入れたり、印刷用紙に長尺紙を使って、A4 の原稿を実寸のまま４ページ分並べて 1 枚の用紙に印刷することもできます。

5.5 模造紙大まで拡大して印刷する（マルチページ「分割」印刷）

マルチページ「分割」の機能を使って、１ページを模造紙大の大きさに拡大して印刷することができます。実際は模造紙大の用紙に印刷できませんので、複数の用紙に分けて印刷し貼り合わせてください。

● マルチページ「分割」印刷をする場合は、「基本設定」の「マルチページ」をチェックして、マルチページの種類をリストから選択します。「自由分割」などの詳細は「...」ボタンをクリックして表示される「マルチページの設定」ダイアログボックスで設定します。

※「マルチページの設定」ダイアログボックスは、リストで選択した種類の設定状態で表示されます。

１ページを複数の用紙に分けて印刷するには「分割」タブを選びます。

用紙イメージを確認しながら設定を変更できます。

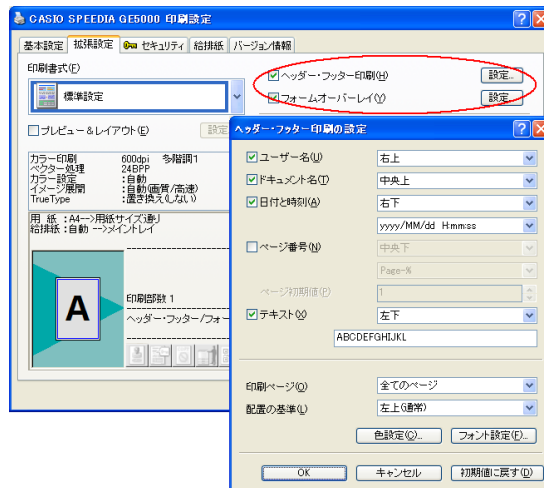
一般によく使われる設定は、あらかじめ用意されているアイコンを選んで設定できます。

「自由指定」ボタンをクリックして、任意の設定で「分割」することもできます。

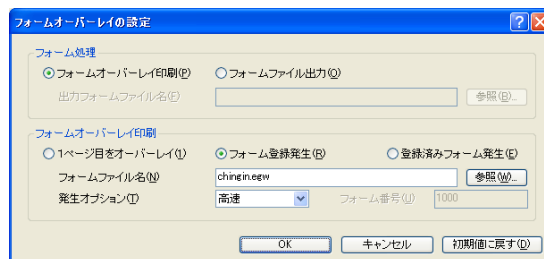
用紙９枚を使って９倍の大きさに拡大したり、印刷用紙に長尺紙を使って、模造紙大の大きさに印刷することもできます。

長尺紙（297mm×900mm）を横向きに置き、縦に４枚並べて貼り合わせることで、模造紙（790mm×1083mm）を超える大きさを実現します。

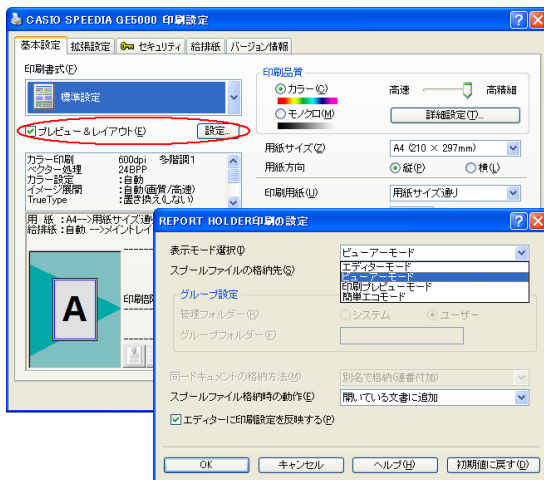
※ 一定の拡大率を超えるとWindows側の処理能力を超え、拡大部分の劣化が目立つようになります。

5.6 文書にデータを追加して印刷する

プリンタードライバーの機能を使って、文書データにない情報を付加した印刷をすることができます。

●ヘッダー・フッター印刷

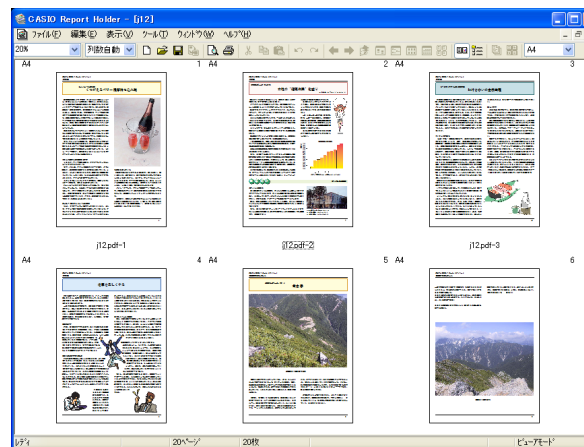
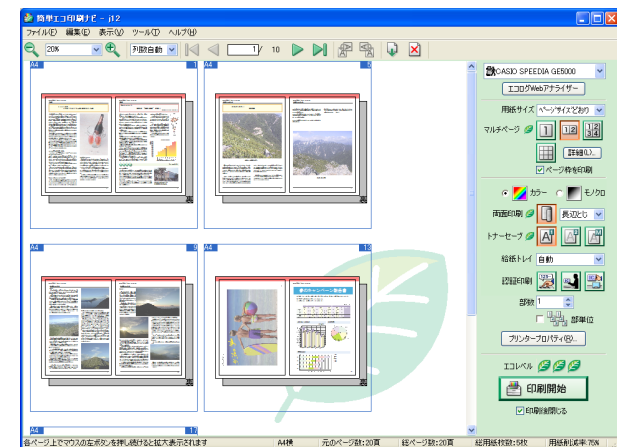
「ユーザー名」や「ドキュメント名」などの情報を、ヘッダーやフッターのように各ページに印刷することができます。

●フォームオーバーレイ

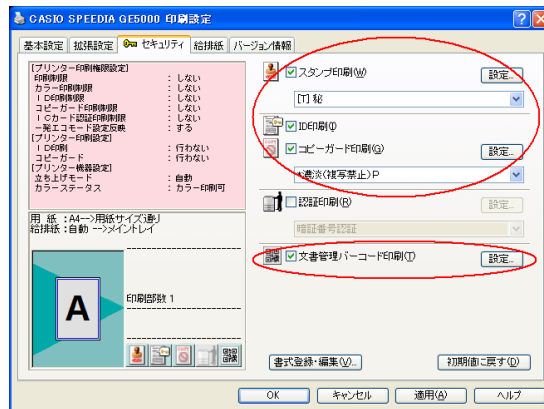
文書の１ページを、他の文書に重ね合わせて印刷したり、「FORMG Ⅲ Ver.2/Ver.3」で作成したフォームファイルをオーバーレイ印刷することができます。

5.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト：REPORT HOLDER印刷）

「プレビュー＆レイアウト」をチェックして印刷（別称「REPORT HOLDER 印刷」）を行うと表示される「プレビュー画面」で「Report Holder 編集」ボタンをクリックすると、REPORT HOLDER エディターが起動し、印刷データを再構成（ページの入れ替え、追加など）して印刷することができます。

- **「プレビュー＆レイアウト」の「設定」ボタンをクリックすると開く「REPORT HOLDER印刷の設定」ダイアログボックスで、表示モード選択「ビューアーモード」または「エディターモード」を選択して、直接REPORT HOLDERエディターを起動することもできます。**

  ※初期値は「プレビュー画面」が開く「印刷プレビューモード」です。

  ※「簡単エコモード」で開く「簡単エコ印刷ナビ」からはREPORT HOLDERエディターは起動できません。
- **REPORT HOLDERエディターでは、ページ順序の並べ替えや、ハードディスクに保存しておいた他の文書のページを取り込むことができます。また、こうして再構成した印刷データを保存することもできます。**
- **「簡単エコモード」で開く「簡単エコ印刷ナビ」ではエコロジーなレイアウト設定やドライバー設定が変更できます。**
- **REPORT HOLDER エディターの詳細は、REPORT HOLDER for SPEEDIA ソフトウェアマニュアルをご覧ください。**
- **「簡単エコ印刷ナビ」の詳細は、簡単エコ印刷ナビマニュアルをご覧ください。**

REPORT HOLDERエディター　編集画面

簡単エコ印刷ナビ　画面

5.8 文書にセキュリティ情報を付加して印刷する

プリンターとプリンタードライバーの機能を使って、セキュリティ情報を付加して印刷をすることができます。

● スタンプ印刷

文字や画像を、スタンプや透かしのように各ページに印刷することができます。

● ID印刷

各ページの余白（印字禁止領域部分）に、ログオンユーザー名、印刷時刻、コンピューター名、プリンターシリアル番号を印字します。印刷物が、何時、何処で、誰が印刷したかなどがわかるようになります。

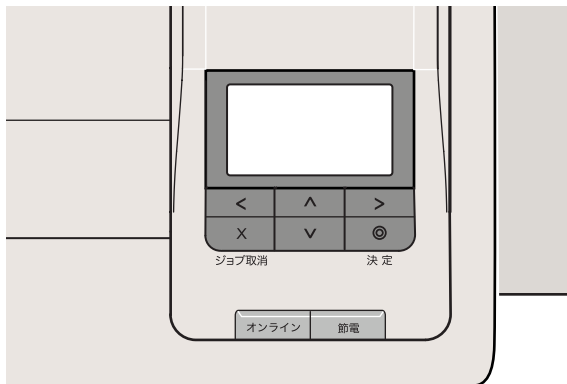
● コピーガード印刷

機密文書や証明書などの印刷書類では、書類の偽造、不正利用、流出を抑止する手段として、書類のコピー、複製であることを意味する文字が浮かびあがる特殊な用紙を使用することがあります。コピーガード印刷時に設定します。コピーガード印刷を選択して印刷すると、印刷物をコピーしたときに文字が浮かびあがる特殊なパターンが印刷されます。特殊な用紙を用意することなく、原紙に複写牽制措置を付加することができます。
別売の COPY GUARD TOOL（Ver.2 以降）を導入すると、牽制文字やパターンの編集、印刷条件の指定などの機能が追加され、さらに多彩な複写牽制措置が可能になります。

● 文書管理バーコード印刷

保管／廃棄期限情報と文書 ID をバーコード（QR コード）に変換して、設定した印刷パターンで印刷することができます。

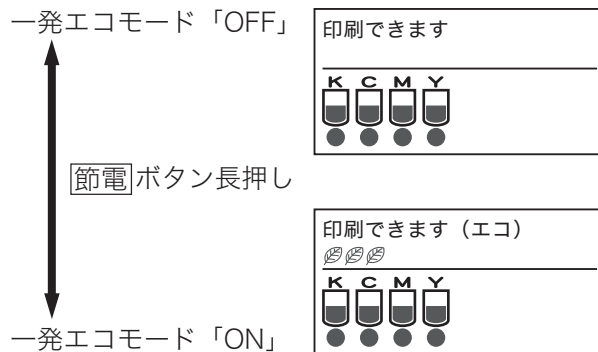
※ 各機能の設定に関する詳細は、プリンタードライバーのヘルプをご覧ください。

5.9　一発エコモードについて

『一発エコモード』とは、両面印刷、トナーセーブ、マルチページ、カラー印刷、認証印刷などの機能を利用してエコロジーに配慮した印刷を行うモードです。プリンターへの設定を行うだけで、そのプリンターに接続しているすべてのコンピューターのプリンタードライバー設定がエコロジーに配慮した設定（エコモード）に切り替わりますので、各コンピューターのユーザーが個別に設定する必要はありません。

注意 **●「一発エコモード」機能を利用するには、SPEEDIAマネージャーが必要です。**
●「一発エコモード」については、☞プリンター活用ガイドを併せて参照してください。

●「一発エコモード」への移行と解除

プリンターの操作パネルの 節電 ボタンを４秒以上長押しすると、『一発エコモード』が「ON」になります。もう一度 節電 ボタンを４秒以上長押しすると「OFF」になります。「Web設定」でも変更可能です。「ON」になると、プリンターの表示パネルが［印刷できます（エコ） ］に変わります。

プリンタードライバーにエコモード設定が反映されると、タイトルバーに＜エコモード＞と表示されます。「一発エコモード」で設定されたプリンタードライバーの設定は任意に変更することができるため、エコ関連の設定をすべて「OFF」にすることもできますが、その場合でもタイトルバーの＜エコモード＞は消えません。

●「一発エコモード」の設定内容

「一発エコモード」が「ON」になった時に設定されるプリンタードライバーの既定値は以下の通りです。既定値はWeb設定の「一発エコモードの設定」で変更できます。☞ **Web設定編 3.2.5 エコモード設定（64ページ）**

※「一発エコモード」既定値

両面印刷（とじる位置）　：両面印刷長辺とじ
自動片面（単独ページの取り扱い）　：する（単独ページを両面印刷しない）
トナーセーブパターン　：レベル１（約30%のトナーを節約）
テキスト(文字)の濃度　：濃くする
マルチページ　：2page合成
カラー印刷　：変更しない
認証印刷　：変更しない

※「一発エコモード」を切り替えても、プリンター側の設定は変わりません。（プリンタードライバー側の設定のみ変わります。）

※ プリンターがUSB接続の場合「一発エコモード」の「ON」「OFF」は有効ですが、Web設定による「一発エコモードの設定」は反映されません。前記「一発エコモード」の既定値が適用されます。

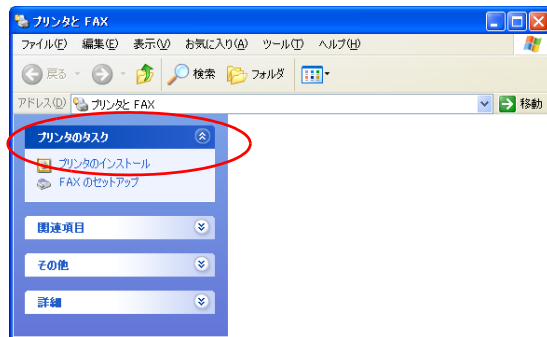
※「一発エコモード」で設定されたプリンタードライバーの設定は、各ユーザーが任意に変更できます。一時的に変更するときはアプリケーション側のプリンター設定（プロパティ）で変更してください。継続的に変更するときは「スタート」→「プリンタとFAX」→「CASIO SPEEDIA GE5000」アイコンを右クリック→「印刷設定」で変更してください。(Windows XPの例)

●「初期値に戻す」「全て初期状態に戻す」について

＜エコモード＞が表示されている状態で、「基本設定」タブの「初期値に戻す」、「バージョン情報」タブの「全て初期状態に戻す」ボタンを押すと「一発エコモード」既定値の設定に戻ります。

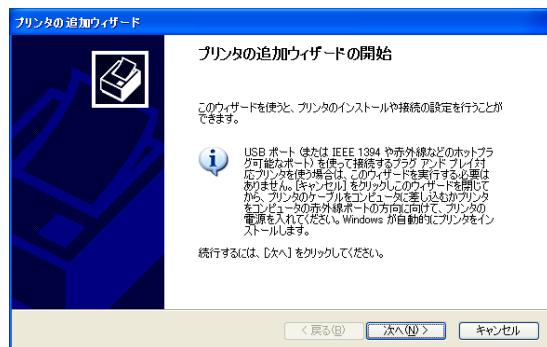
付録「プリンターの追加」によるインストール

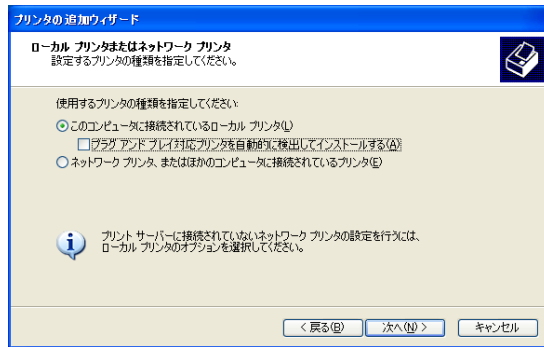
Windows 2000/XP/Server 2003のプリンターの追加ウィザード

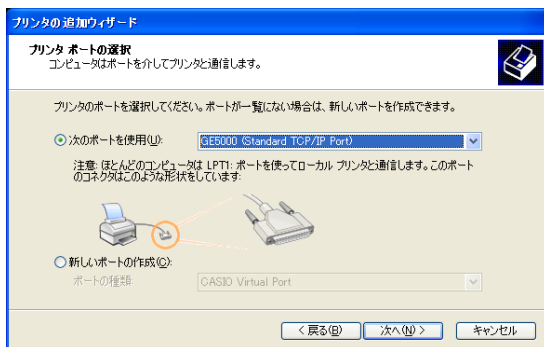
※ 画面はWindows XPの画面です。その他のOSでは画面やメッセージが異なる部分がありますが、基本的な流れは同様です。

1. プリンタードライバーのインストール

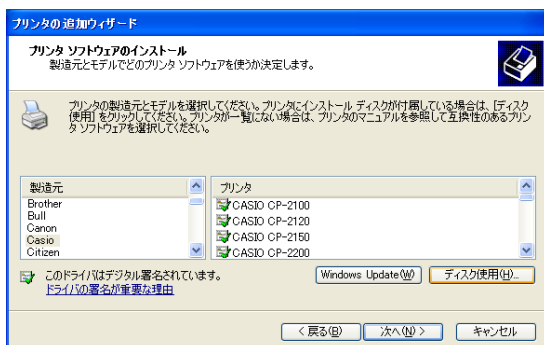
「スタート」メニューの「プリンタと FAX」を選択して「プリンタと FAX」フォルダを開きます。
※Windows 2000は、「スタート」メニューの「設定」から「プリンタ」を開きます。

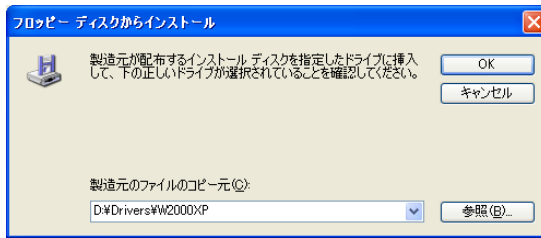
「プリンタと FAX」フォルダ（Windows 2000は「プリンタ」フォルダ）の「プリンタの追加」をダブルクリックして、プリンタードライバーをインストールするためのウィザードの画面を表示します。
※Windows XPは、プリンタのタスク「プリンタのインストール」をクリックします。

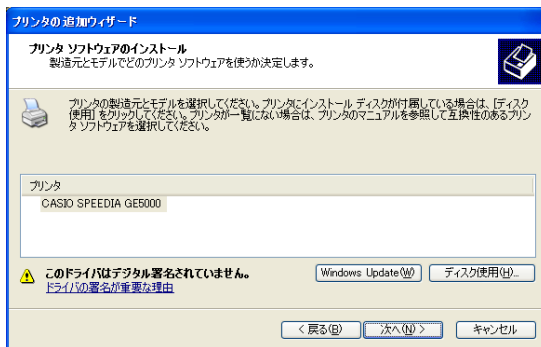
ウィザードの画面メッセージに従って、プリンタードライバーをインストールします。
ウィザードの内容はOSによって異なります。

2. プリンターの追加ウィザードの開始

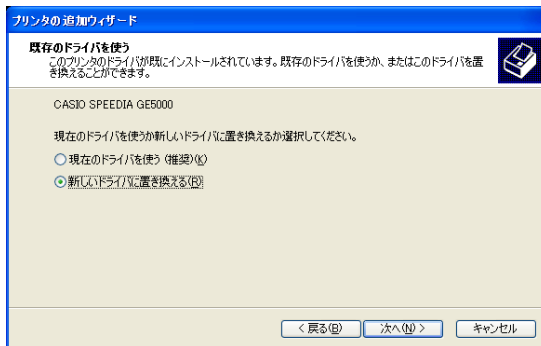
プリンターの追加ウィザードでは、画面のメッセージに従って必要な項目を各画面で設定し「次へ」ボタンをクリックして進行します。
「プリンタの追加ウィザードの開始」が表示されたら「次へ」ボタンをクリックして次の画面に進みます。

3. 接続先の選択

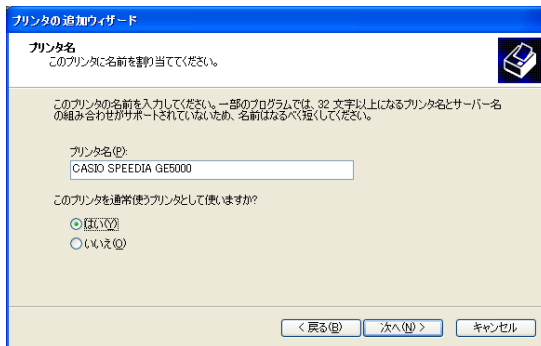
プリンターの接続形態を選択します。
「このコンピュータに接続されているローカル プリンタ」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

4. プリンターポートの選択

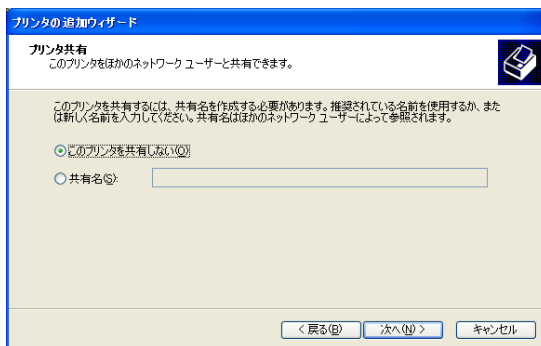
プリンターが接続されているポートを設定します。
適切なポートを選択して「次へ」ボタンをクリックします。
※USBポートへの接続の場合、プラグ アンド プレイによるUSBポートの作成が必要です。

5. プリンターの選択

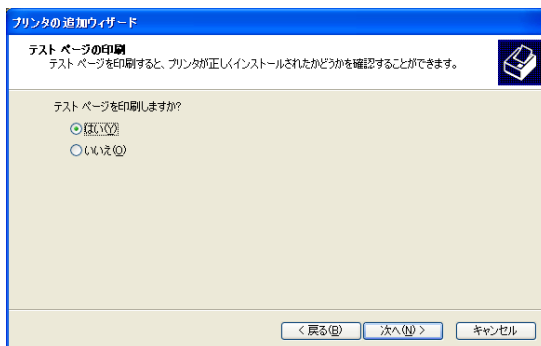
プリンター機種を選択します。
「ディスク使用」ボタンをクリックして新しいプリンターをインストールします。

6. インストールディスクの指定

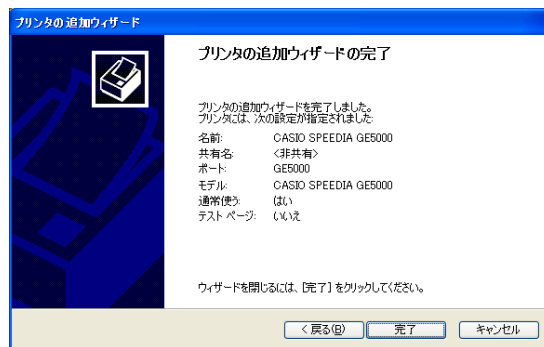
インストールするディスクを指定します。
CD-ROMからインストールするには、「D:¥Drivers¥W2000XP」（DドライブがCD-ROMドライブの場合）を指定します。
その他のディスクからインストールする場合は、各ディスクの適切なフォルダーを指定してください。

7. プリンターの選択

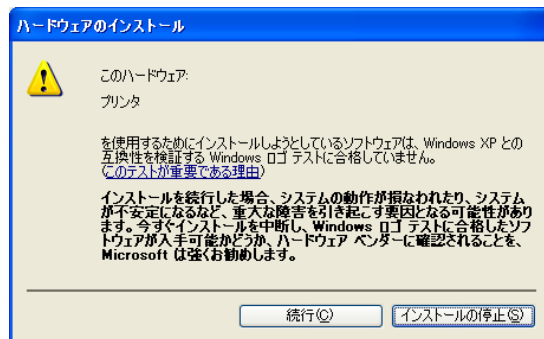
再びプリンター機種の選択画面が表示されます。
使用するプリンターを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

● プリンタードライバーの更新

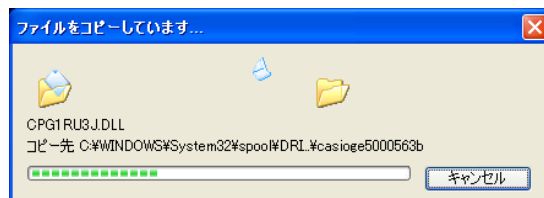
コンピューターに本プリンター用のプリンタードライバーが既にインストールされている場合、左図のダイアログボックスが表示されることがあります。
新しいプリンタードライバーをインストールするために、必ず「新しいドライバに置き換える」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

8. プリンター名の設定

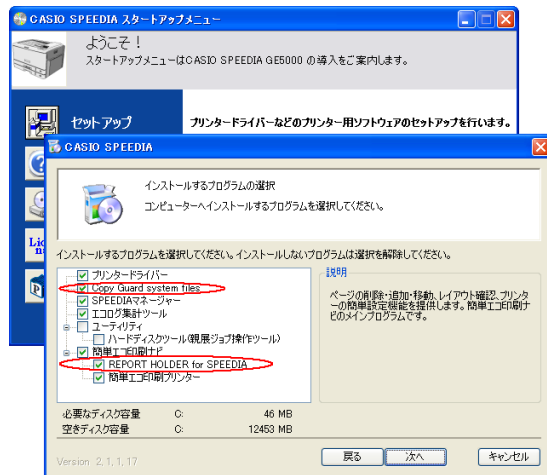
必要に応じてプリンターの名前を変更します。
「このプリンタを通常使うプリンタとして使いますか？」は「はい」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

9. プリンター共有

プリンターをほかのユーザーと共有するかを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

10. テスト印刷

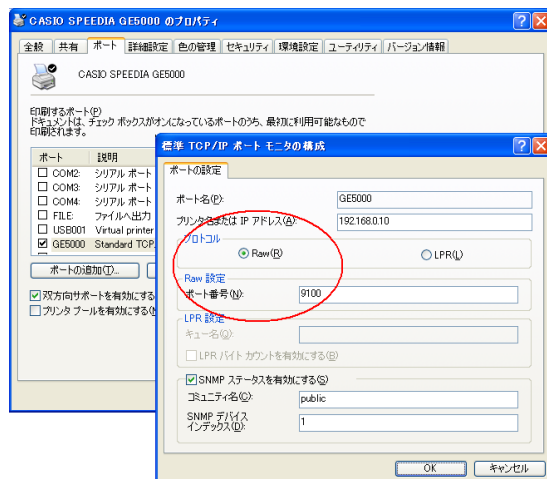
インストール後、プリンター機能を確認するためにテストページを印刷することができます。
テストページを印刷するには「はい」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

11.「完了」ボタンをクリックするとインストールの準備は完了です

ファイルのインストールが開始されます。

●デジタル署名の確認

ファイルのインストール前に、左図のダイアログボックスが表示されることがあります。
このダイアログボックスが表示された場合は、「続行」ボタンをクリックしてインストールを続けてください。

*12.*ファイルのコピー

プリンタードライバーに必要なファイルがインストールされます。
ファイルのコピーが終了すると、プリンターのアイコンが作成されます。アイコンが作成されたらインストールは完了です。

● REPORT HOLDER印刷機能／コピーガード印刷機能の追加

REPORT HOLDER印刷機能（ **5.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト：REPORT HOLDER印刷）（31 ページ）**）、コピーガード印刷機能（ **5.8 文書にセキュリティ情報を付加して印刷する（32 ページ）**）は、プリンターの追加ウィザードではインストールされません。

それぞれの印刷機能を追加するには、CD-ROMのセットアップを実行してセットアップタイプ「カスタム」でインストールしてください。

● 標準 TCP/IPポート モニタの構成について

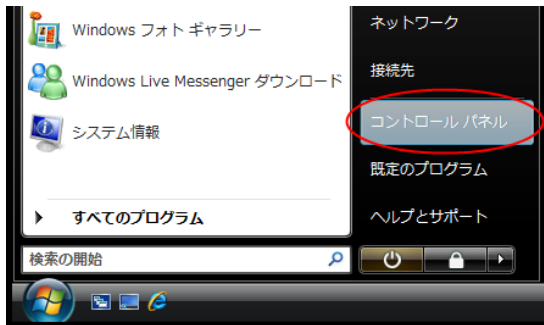
「プリンタの追加」によるインストールで作成されるポートの設定は次の通りです。

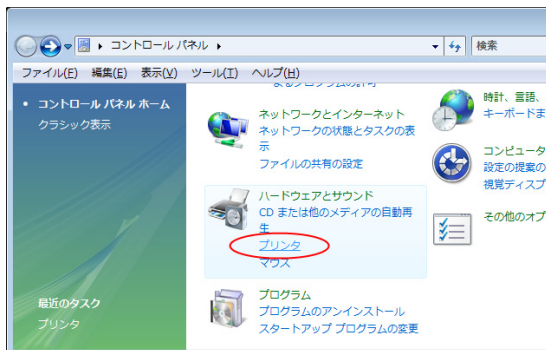
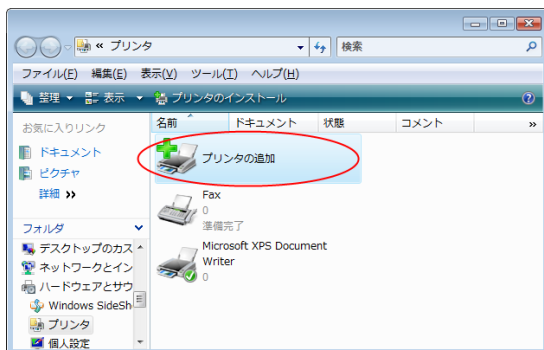
プロトコル：LPR
LPR 設定 ：キュー名「presto0」／ LPRバイト カウントを有効にする「OFF」

本プリンターは、この設定のままで印刷を行うことができますが、下記設定に変更することもできます。
※ CD-ROMからセットアップウィザードを使用してインストールした場合はこの設定となります。
※ どちらの設定でも機能や印刷速度などに違いはありません。

プロトコル：Raw
Raw 設定 ：ポート番号「9100」

Windows Vista /Server 2008/7のプリンターの追加ウィザード

※ 画面はWindows Vistaの画面です。Windows Server 2008およびWindows 7では画面やメッセージが異なる部分がありますが、基本的な流れは同様です。

1. プリンタードライバーのインストール

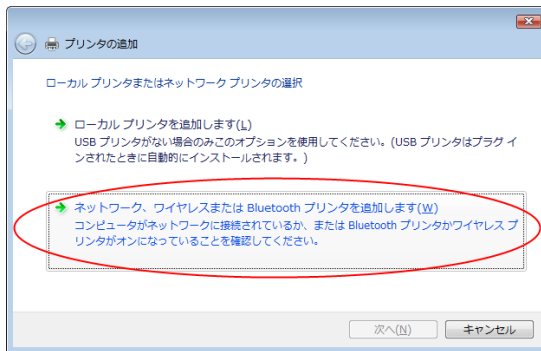
「スタート」メニューの「コントロールパネル」を選択して「コントロールパネル」を開きます。

次に「ハードウェアとサウンド」のグループにある「プリンタ」を選択して「プリンタ」フォルダを開きます。
※Windows 7は、「デバイスとプリンターの表示」を選択します。

2. プリンターの追加ウィザードの開始

「プリンタの追加」ウィザードでは、画面のメッセージに従って必要な項目を各画面で設定し「次へ」ボタンをクリックして進行します。
※ Windows Server 2008 は、「プリンタの追加」を右クリックして「管理者として実行」を選択してウィザードを開始します。(「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示される場合「続行」ボタンをクリックします。)
※ Windows 7は、メニューバー上の「プリンターの追加」をクリックします。

3. 接続先の選択

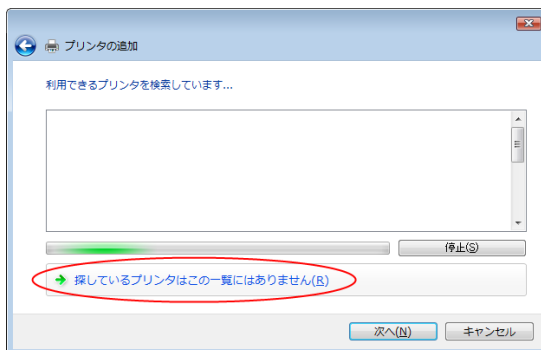
プリンターの接続形態を選択します。

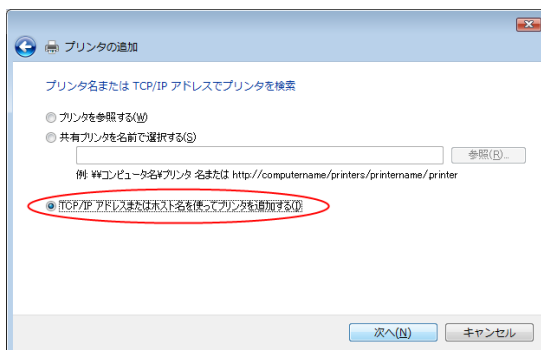
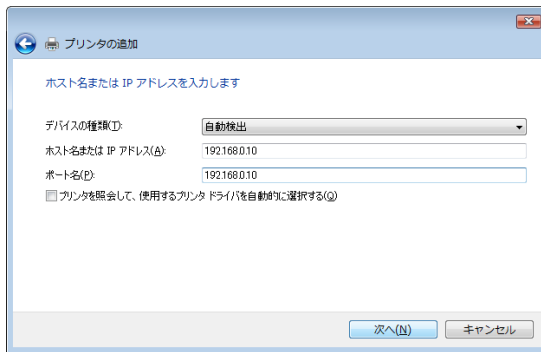
「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

※USBポートへの接続の場合、CD-ROMからセットアップウィザードを使用してセットアップを行ってください。

4. 利用できるプリンターの検索

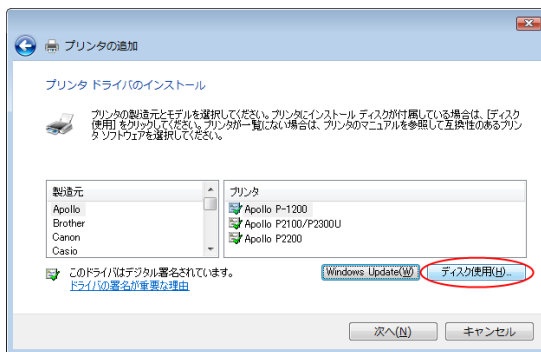
利用できるプリンターが検索され表示されます。

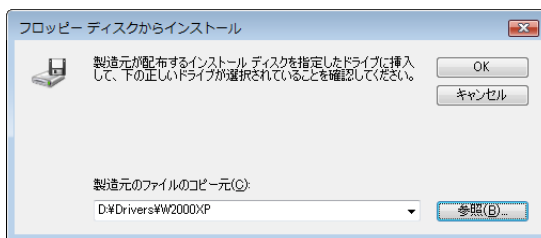
他のコンピューターに接続された共有プリンターを利用する場合は、表示されたプリンターを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

ここでは、TCP/IPで直接接続する設定を行います。「探しているプリンタはこの一覧にはありません」を選択します。

5. プリンターの追加

「TCP/IP アドレスまたはホスト名を使ってプリンタを追加する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

6. ホスト名またはIPアドレスの入力

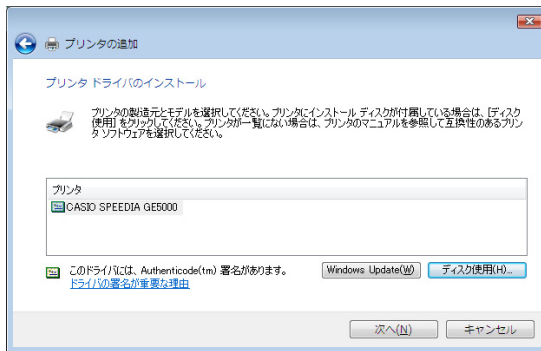
ホスト名またはIPアドレスを入力します。
ポート名は自動的に入力されます。必要に応じて名称を変更します。

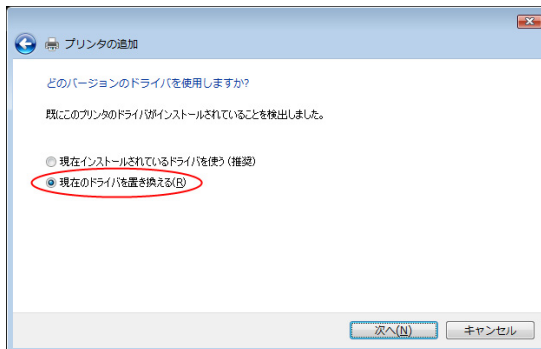
「プリンタを照会して、使用するプリンタ ドライバを自動的に選択する」のチェックをはずして「次へ」ボタンをクリックします。

7. プリンタードライバーのインストール

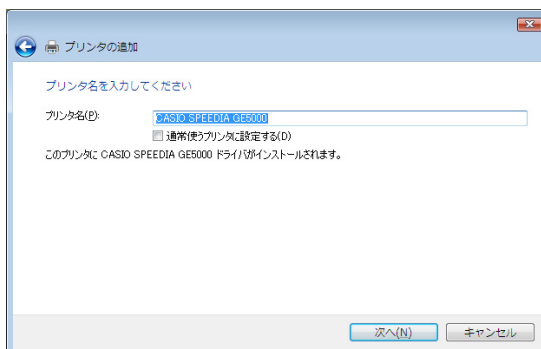
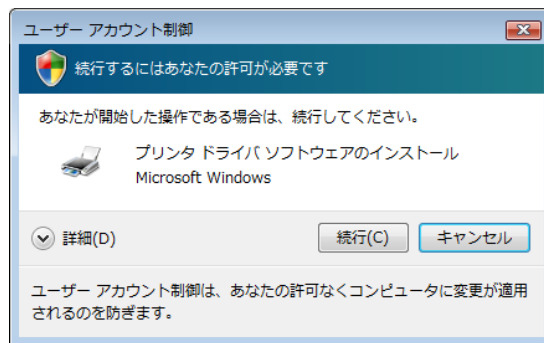
プリンター機種を選択します。
「ディスク使用」ボタンをクリックして新しいプリンタードライバーをインストールします。

8. インストールディスクの指定

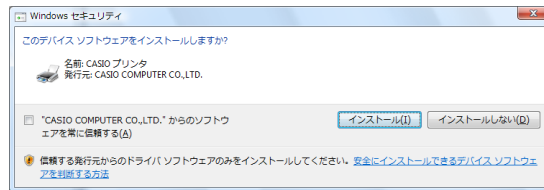
インストールするディスクを指定します。
CD-ROMからインストールするには、「D:¥Drivers¥W2000XP」（DドライブがCD-ROMドライブの場合）を指定します。
その他のディスクからインストールする場合は、適切なドライブとフォルダーを指定してください。

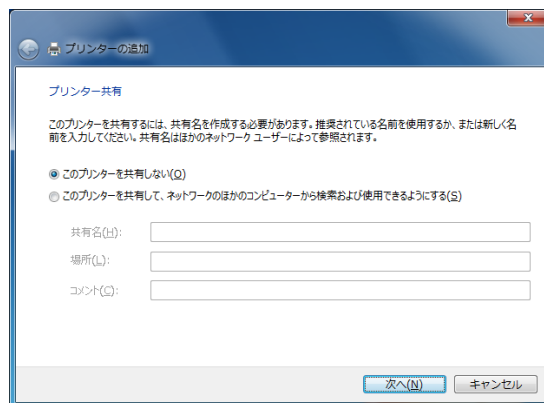
9. プリンターの選択

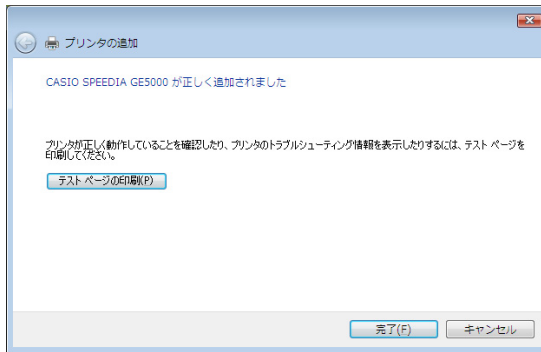
再びプリンター機種の選択画面が表示されます。
使用するプリンターを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

● プリンタードライバーの更新

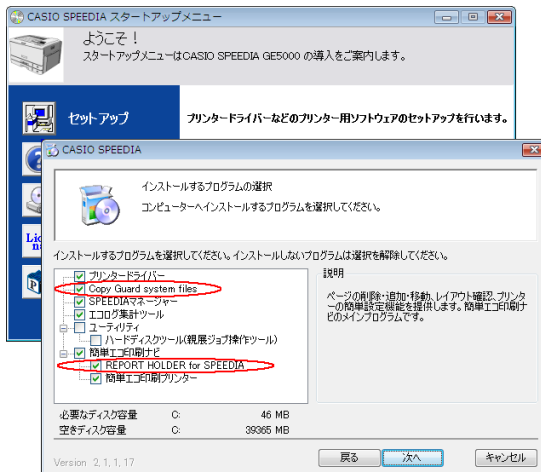
コンピューターに本プリンター用のプリンタードライバーが既にインストールされている場合、左図のダイアログボックスが表示されることがあります。
新しいプリンタードライバーをインストールするために、必ず「現在のドライバを置き換える」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。

10. プリンター名の設定

必要に応じてプリンターの名前を変更します。
「通常使うプリンタに設定する」を選択して「次へ」ボタンをクリックします。
※Windows 7の場合、ここでは「通常使うプリンターに設定する」が表示されません。

11. ユーザー アカウント制御

プリンタードライバーをインストールするには管理者の許可が必要です。
「続行」ボタンをクリックします。
※ 管理者以外のユーザーの場合、管理者パスワードが必要です。
※ OSや権限によっては、表示されない場合があります。

12. Windows セキュリティダイアログボックス

「インストール」ボタンをクリックします。

●プリンター共有

Windows Server 2008やWindows 7環境の場合、左図のダイアログボックスが表示されます。
プリンターをほかのユーザーと共有するかを選択して「次に」ボタンをクリックします。

13. プリンターの追加完了

「完了」ボタンをクリックするとインストールは完了です。
必要に応じて「テスト ページの印刷」ボタンをクリックしてテストページを印刷します。
※Windows 7は、「通常使うプリンターに設定する」が表示される場合があります。

● REPORT HOLDER印刷機能／コピーガード印刷機能の追加

REPORT HOLDER印刷機能（☞ **5.7 印刷データを再構成して印刷する（プレビュー＆レイアウト：REPORT HOLDER印刷）（31 ページ）**）、コピーガード印刷機能（☞ **5.8 文書にセキュリティ情報を付加して印刷する（32 ページ）**）は、プリンターの追加ウィザードではインストールされません。
それぞれの印刷機能を追加するには、CD-ROMのセットアップを実行してセットアップタイプ「カスタム」でインストールしてください。

お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

0570-033066　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7243

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

0570-066044　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7232

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター

＜受付時間＞月曜日～土曜日　AM9:00～PM5:30（日･祝日･年末年始･夏期休暇等を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

お客様サポートホームページ　http://casio.jp/support/ppr/

SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル
プリンタードライバー編

2010年3月15日　第1版発行

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

カシオ電子工業株式会社

© CASIO COMPUTER CO., LTD.
© CASIO ELECTRONICS MANUFACTURING CO., LTD.